

アコモード

タイムズ

第53号

編集・発行

社会福祉法人 アコモード

- 特別養護老人ホーム アコモード
- アコモード指定居宅介護支援事業所
- アコモードヘルパーステーション
- デイサービスセンター アコモード
- グループホーム アンダンテⅠ・Ⅱ
- ケアホーム アザレアⅠ・Ⅱ
- ケアホーム アヴァンセⅠ・Ⅱ
- ケアホーム アメリアⅠ・Ⅱ
- 特別養護老人ホーム アクイール
- デイサービスセンター アクイール
- キッズルーム アクイール
- キッズルーム アコモード
- アンジェリカ保育園
- 我孫子市老人福祉センターつつじ荘
- 我孫子市布佐・新木地区地域包括支援センター
- 我孫子市我孫子南地区地域包括支援センター
- アコモード相談支援事業所

千葉県我孫子市布佐1559-2
Tel.04 (7189) 5201・Fax.04 (7189) 5203

「子どもまんなか社会」

「子どもの安全・安心」を実現するために

アンジェリカ保育園 園長 松尾康弘

皆様もご存じの通り、昨年末は『不適切な保育や虐待により保育士の逮捕』というショッキングな報道があり、それ以降も次々と新たな事件が報告されています。同じ保育に携わるものとして悲しく残念な気持ちでいっぱいです。

アンジェリカ保育園では以前より、子どもの人権を保障し「子ども中心」の保育を実践するための取組みを積極的に行っていました。

ひと昔前は、子どもは「何も知らない未熟な存在」とし大人が「教え込んで育てる」ものという考え方が主流でした。しかし、研究が進んだ現在では、子どもは「生まれながらにして学ぶ力をもつ存在」と考えられるようになりました。そのため、私たち大人は、子どもたちが自ら考え、それを表現できる環境をつくることの大切さが問われています。

子どもの最善の利益を保証する我々保育所・認定こども園等においては、つねに子どものことを中心に据えた保育を実践し継続していく必要があると考えています。

そんな中、今年の四月に「こどもまんなか社会」をめざし、「こども基本法」が施行されるとともに、「こども家庭庁」が設置されました。

こども基本法の理念は、
①個人として尊重され、人権が保障されること、差別されないこと。

②適切に養育され、生活を保障されること。福祉に係る権利が等しく保障され、教育を受ける機会が等しく与えられること。

③年齢や発達に応じ、自己に直接関係する事項に意見を表明する機会や社会的活動に参画する機会が確保されること。

④年齢や発達に応じ、意見の尊重、最善の利益が優先して考慮されること。

⑤養育は家庭を基本とし、父母の責任の下、十分な養育の支援・家庭での養育が困難なこどもの養育環境を確保すること。

⑥家庭や子育てに夢を持ち、子育てに伴う喜びを実感できる社会環境の整備をしていくこと。

の六つが柱として挙げられています。

今まで以上に、子どもの権利について考え、子どもを尊重した関わりが必要とされる時代になったのだと思います。時代が変化していくと共に、保育園や保育士に求められることも変化していることを肌で感じています。本園では、そのような取り組みも視野に入れつつ、法人の基本方針でもある「笑顔の絶えない生活を全力で支援する」を達成し続けられるよう、変化には敏感に、先を見据えたさらなる質の高い保育を目指してまいります。

パーティーション設置について

この度、アコモードでは多床室をプライバシー保護、飛沫感染対策を目的とし、パーティーションを設置する事となりました。従来はカーテンで仕切っていただけの多床室。パーティーションを用い部屋を間仕切ること、利用者様のプライベートな空間を創出。壁で区切られることで、利用者様には一層安心して施設をご利用いただけるようになると思います。また、上部の窓は開閉が可能で、開けることで空気の停滞を避け換気を行ったり、感染症流行時は閉じることで感染防止対策を行うことができます。

プライベートスペースが確保され、利用者様には快適にお過ごしいただき、満足度を向上させることができるよう尽力して参ります。

通常の面会も再開しましたので、ご家族様とのひと時のお時間を有意義に過ごしていただけたらと考えております。是非アコモードまで足を運んでいただけたら幸いです。



眠りスキャン

千葉県介護ロボット導入支援事業費補助金で、見守りセンサー「眠りスキャン」を導入しました。

「眠りスキャン」とはシート状のセンサーを敷きこみ、寝返りや呼吸、脈拍などの体動を検出し、利用者様の呼吸数や脈拍数、睡眠状態、覚醒、起き上がり、離床動作などをリアルタイムで把握することを目的としたセンサーです。夜間の見守りや生活状態の把握等に利用することができ、利用者様の安全性向上と介護職員の負担軽減が期待されています。

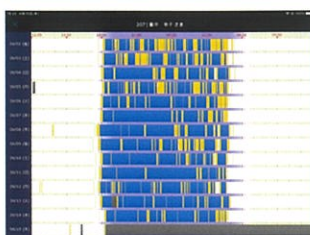
色々な活用方法がありますが、夜間巡回時の様子観察から眠りが浅いと思われる利用者様をピックアップして使用しています。



ベッドに設置したセンサーで入居者様の体動(呼吸や心拍など)を測定し、睡眠状態を記録する。



タブレット、パソコン上で各入居者様の入眠状態、呼吸、心拍数、在離床などリアルタイムで確認できる。



睡眠や覚醒状態を確認することで、入居者様の睡眠を邪魔する事無く巡視やトイレ誘導等が行える。

今まで、あまり休まれていないと報告があっても、どのような状態なのか把握しづらい所がありました。が、リアルタイムモニターから睡眠日誌を表示することで、どのくらい休まれているのかが一目でわかり、日中の過ごし方を含め、睡眠習慣の見直しに繋がります。

また、心拍数や呼吸の様子も観察できるため、さまざまな状態の利用者様に活用して行きたいと考えています。

これまで経験で行っていた介護から利用者様の状態を数値データとして効率よく把握し、介護を行う事で利用者様のQOLの維持向上を目指して行きたいと思っています。



タブレット

現在、アコモード・アクイール等の事業所では、千葉県介護サービス事業所ICT導入支援事業費補助金を利用してタブレット端末を導入しています。

これまで福祉・介護施設向け業務管理システムを使用して、利用者様のサービス向上、スタッフの業務改善、記録業務の簡素化に努めていましたが、情報の入力にはパーソナルコンピュータで行っていました。

今回、介護現場で持ち運びできるタブレット端末を導入した事で、看護・介護記録の情報入力をリアルタイムに現場で入力できる様になりました。

利用者様のバイタルサイン、食事、日常の記録はもとより、皮膚の状態等もタブレットで撮影して入力を行っています。

以前は、撮影したものを印刷して報告を行っていましたが、導入後は看護師や相談員とタブレット端末で情報を早く、わかりやすく共有できる様になりました。改めて利用者様の状態を現場で確認する必要性がなくなり、業務の効率化・簡略化、ペーパーレス化が着実に実現しています。

タブレットの操作に慣れない職員には講習会に何度も参加した担当の職員が操作方法のレクチャーを行っています。

このようにタブレットを導入する事で、データ連携の効率化、情報共有が促進され、利用者様のケアサービスの質の向上に資する事が期待されています。



デイサービスセンター

アコモード

アコモードデイサービスでは毎月行事を行うという目標があります。

夏祭り、敬老会、クリスマス会の三大行事を中心に、毎月の会議で意見を出し合い、ドラ焼き作り、運動会等の行事を毎月行っております。

夏祭りでは、かき氷、たこ焼き、射的、金魚すくいなどの出店を用意し、お神輿を担ぎ、スイカ割りも行いました。敬老会では、昔の遊びを行い、クリスマス会では笠地蔵の劇を行いました。

デイルームの環境としては、緑豊かなテラスは癒し効果があり、ソファやマッサージ機等でくつろげる場所も整っております。環境のせいか、元々、デイの利用者様自身もマイナスイオンを放っている様が多いです。

またアコモードデイの売りの一つとして、平行棒を使った機能訓練があります。五、六名を一組に平行棒を使った運動を毎日行っております。

四月にコロナ禍により数年中止していた理容サービスが再開できました。ボランティアの受け入れも徐々に再開していく予定です。マスクの着用や換気や消毒などの感染予防を引き続き行いながら、より一層満足して頂ける様に外部の力も借りていけたら良いと思います。



アンジェリカ保育園

今年度から新たに表現遊びの先生がアンジェリカ保育園に来てくれるようになりました。名前はちっち先生。



ちっち先生も一緒に楽しめます。子どもたちにとっては教えてくれる先生ではなく、一緒に遊んでくれる仲間のよう。

友だちの作品も見たり、聞いたりし、「よく考えたね」

「こっち手伝ってもいい？」など認め合い、思いを共有する姿も見られました。

表現遊びは、

こんな気持ち表現したいな

この気持ちってこんなかたかな……

そんなことを体験できる大切な時間になりそうです。



第二回目は丸めた新聞紙で前回イメージしたものを表現してみました。テープでくっつけるだけなので、次々と自分の想いが形となっていきます。立体になることで、絵の時とは違うワクワク感が沸いてきます。まるで遊びをしているような感覚なのです。

第二回目は丸めた新聞紙で前回イメージしたものを表現してみました。テープでくっつけるだけなので、次々と自分の想いが形となっていきます。立体になることで、絵の時とは違うワクワク感が沸いてきます。まるで遊びをしているような感覚なのです。



アンダンテ

コロナ禍で行事や外出が制限される中、ご利用者様に楽しんでいただける企画や行事を提供し、ご利用者様から沢山の笑顔と元気をもらいました。

掲載されている一枚目の写真は、避難訓練が終了した後に、青空の下で職員と一緒に歌を唄っている場面です。青空に響き渡るくらい大きな声で唄っていたのが印象的です。



一枚目

二枚目の写真は、毎日行っている歌謡体操の場面です。両手に棒を持ち、「青い山脈」の曲に合わせて、ノリノリに身体を動かしているご利用者の姿です。



四枚目



三枚目

三枚目と四枚目の写真は、桜満開の小林牧場へ花見に行った際の合同写真です。多くの人が行きかう中での桜の観賞となりましたが、久しぶりの外出に、「楽しかった」との声が聞かれました。今後ご利用者が楽しめる企画や行事を考え、地域の行事にも参加出来るよう努めて参ります。



夜間想定避難訓練

ケアホームではそれぞれのホームで火災発生や地震、夜間を想定した避難訓練を年二回実施しています。

令和五年三月にケアホームアヴァンセにて夜間、地震による火災を想定し避難訓練を行いました。避難のあと水消火器を使用した消火訓練も合わせて実施致しました。

皆様、「やりたい！」と職員と一緒に消火活動！「上からではなく下から消しますよ」とお伝えすると、しっかりと地面がけて放水出来ていました。

火災もちろん怖いですが、最近では全国で大きな地震が相次いでいます。千葉県でも大きな揺れを感じました。利用者の方からは「怖かったよ！寝られなかったよ！」と不安な様子も見受けられました。普段の会話の中でも「地震があったら机の下に隠れて頭を守らないとね！」「お話しをすると「訓練、訓練」と「訓練しない」とね」と利用者の方から訴えて下さいます。

日頃からの備えが必要だと分かっています。地震が続く今こそ備えを行動に移す時かもしれませんね。



バーベキュー、楽しかったよ

ゴールデンウィーク真ん中の

五月四日、ケアホームを利用されている方たちがアメリカの駐車場でバーベキューを楽しみました。

コロナ禍で外出することも、外食することも出来ず、長い間自粛生活を送っていた方々が皆様に、さわやかな五月の風を感じながら、美味しいお肉や焼きそば等、ふだんのお食事とはひと味もふた味も違う昼食を召し上がっていただきました。

お天気に恵まれたバーベキュー日和で、朝から皆様はソワソワ・ワクワク。「生まれて初めてのバーベキュー！」と、ニコニコ顔の方もいらっしゃいました。

目の前で焼きあがるお肉の良い香りに食欲は増すばかりです。お肉が焼きあがるのを待ちきれず、「お肉ちょうだい」とお皿を職員に差し出したり、焼き肉のたれも美味しくて飲もうとされる方がいらついたり……。

たくさん用意したおにぎりもあつという間になくなってしまいました。もうお腹いっぱいと言いつつも、焼きそばを作りはじめると、「焼きそばも食べる！」と皆様、食欲旺盛で頼もしい限りです。体調を崩される方もなく、GWを満喫できた一日でした。

「また、やってね」とリクエストされました。今度はどんな美味しい物をみんなが食べようか、楽しい企画を立てていきたいと思っています。



つつじ荘

つつじ荘は築四十八年の建物で、全体的に老朽化が進んでいます。現在に至るまで、クラックの入った壁を補修、給湯用ボイラーなど様々な箇所の修繕工事を行ってきました。快適に過ごせる施設を目指して参りましたが、女性浴槽

の漏水が躯体に大きく影響を与える可能性があることから、令和五年一月から改修工事が行われ、その間入浴を中止しました。寒さの厳しい期間、つつじ荘のお風呂を楽しみにされていた利用者の皆様には大変ご迷惑をお掛けしました。

女性浴槽の工事前の写真と工事後の明るく変身した浴室写真をご覧ください。また、昨年度は男女の浴室の洗い場部分に手すりを付けました。

浴槽工事期間を利用して、トイレの壁の塗り替え・脱衣室上がり口とトイレカーペットの張替・花壇整備・駐車場の車止め設置などつつじ荘職員が行いました。「きれいになったね！」と声を掛けていただきました。これからも、日々の整備を心掛けて皆様のご利用をお待ちしております。



工事後の初利用日

布佐・新木地区 高齢者なんでも相談室

高齢者の運転について

報道等で取り上げられることが多い、高齢者の運転事故ですが、高齢運転者による事故が報道される機会が増えているのは、人命に関わるケースが特に多いからと考えられます。

高齢運転者が交通事故を引き起こしやすい要因の一つに、加齢による身体的特性の変化が考えられています。集中力や瞬発的な判断力の低下は高齢者の一般的特徴で、自動車運転に必要な能力の欠如をもたらします。

令和四年五月十三日より道路交通法が改正され、七十五歳以上で普通自動車免許証を保有している方は、過去三年間に一定の違反歴がある場合、運転技能検査に合格しなければ運転免許証の更新を受けることができなくなる等の制度変更がありました。

高齢者なんでも相談室にも「運転が危険だけれど、言ってもやめてくれない」と家族から運転の相談が入ることもあります。簡単な問題ではありませんが、ご相談いただければ一緒に対応を検討していきます。



再加熱カートで温かいお食事を！

アコモードは、ご利用者の皆様にお食事を提供するために「再加熱カート」を導入しました。

冷蔵と加熱、保温機能が備わっている機械です。

一階にある栄養課から各階のご利用者の前にお運びする直前に加熱し、出来立てのお料理をお出しすることができます。

朝食などの慌ただしい時間でも、冷蔵加熱が時間通りに施されるので温かいスープや冷たいサラダで大変喜ばれています！

また、温度管理を大量調理施設衛生管理マニュアルの「調理終了後から二時間以内に喫食の項目を遵守でき、安全衛生面の向上が期待できます。

飲み込みが難しい方には調理法を工夫しているアコモードの食事です。

どんな形の食事も、適温だにより美味しく味わっていただけます。



資格取得報告 令和五年

特別養護老人ホーム
アコモード、施設ケア
マネジャーの石田雄一
です。

先日受験した社会福祉士の国家試験に、無事合格することができました。

合格を知った時はとても驚きましたが、受験を勧めて下さった上司をはじめ、施設の先輩や同僚からのご指導や励ましのおかげだったと心から感謝しております。

「努力は報われる」精神で、これからも様々なことにチャレンジしていきたいと思っています。

合格の秘訣は「朝勉(朝勉強)」することです。



編集後記

現在、世界で活躍している日本人野球選手、大谷翔平選手は、世界的に注目を集め、投手と同時に強打者として二刀流選手、野球界のスーパースターとして知られています。

彼の活躍で子供から大人まで多くの人が野球を楽しめるようになりました。彼の存在感は大きく、野球選手に限らず「夢を叶えるためには努力が必要である」ということを証明し様々な人に影響を与えています。彼のような若者が世界で活躍しているのを見るともっとできる事がある、努力が必要であると痛感します。

広報委員